

令和7年度学校経営計画（概要版）

八王子市立中山小学校長 鈴木 淳

1 学校経営目標

八王子市立中山小学校は、八王子市の「ビジョンはちおうじの教育」に則り、豊かな自然と温かな地域を十分に生かしつつ、公教育の目的である基礎学力の定着・向上と人間形成をバランスよく育成するため、個に応じたきめ細かな教育活動を展開し、保護者・地域の信託に応える学校づくりを進める。

2 目指す学校

保護者や地域との連携と理解・協力の下、児童の発達段階に応じた「知・徳・体」のバランスのとれた教育を行い、地域、社会に貢献する人間を、義務教育9年間で視野に入れて育成する。

いつでも、どこでも、通用する人になるための基を『楽しく学べる学校』

3 今年度の 重点目標と具体的な方策

楽しく遊ぶ子ども～安心して過ごせる学校生活～

【豊かな人間関係を築き、安心して過ごせる学校生活】

・年間を通して隣接学年活動やたてわり活動等の異学年を含む学校全体の活動

主なたてわり活動

・全校遠足(5月) ・運動会のたてわり種目(10月)

・月1回のたてわり遊び ・日々の清掃活動

・さつまいもの栽培から収穫・焼きいもまつり(11月)

【気持ちのよいあいさつ】

・目標の設定・振り返り、学期ごとにあいさつの標語募集

・青少対と中山中との連携した「あいさつ運動」

・児童会のあいさつに関する取組の充実

【いじめ防止の取組と不登校児童への支援の充実】

・週1時間、全教員参加の学校いじめ対策委員会を開催

・必要に応じて関係諸機関と連携した対応

・個票システム、SC や SSW、QU（4年生以上）等を活用

・登校支援委員会の設置。保護者や関係諸機関との連携、別室の活用

楽しく学ぶ子ども～確かな学力の育成～

【基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得】

・「学力定着・向上に向けた取組計画」の策定

・基礎的・基本的な知識及び技能の習得状況の把握と指導

・全学年算数の少人数指導、習熟度別指導の充実

・朝の時間や家庭学習でも東京ベーシック・ドリルやドリル型学習コンテンツを活用

・家庭との連携を図りながら学習用端末の有効利用

【思考力、判断力、表現力等の育成】

・児童の思考を深め、広げる授業を目指し校内研究。研究教科を算数。3回を研究授業。

・以下の3つの実践の継続 「児童主体でめあての設定」、「1時間の流れの基本モデル」、「単元末の振り返りの工夫(3年生以上)」

【子どもが主体的に学習に取り組む態度の育成】

・学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に

・学習したことを日常生活に生かせるように指導

楽しく鍛える子ども～日常の体育的活動や食育の創意工夫～

【日常の体育的活動での創意工夫】

・体育の授業は、基本的には低・中・高学年が合同で

・短縄(5月)・マラソン(12月)、長縄(3月)の集会

【食の大切さを考え判断できる児童の育成】

・1・2年生は生活科、3年生以上は総合的な学習の時間に、年間を通して野菜を育てる活動を位置付け

中山中学校グループにおける小中一貫教育の推進

【義務教育9年間を見通した小中一貫教育の取組を推進】

・6年生の部活動見学(夏休み)、中学校部活動への参加(2学期以降)、中学校授業体験・部活動見学(3学期)

・小中合同での漢字検定(1学期・2学期)、授業交流(算数・数学)・研究授業(学期に1回)

・小中合同の特別支援部会、生活指導部会を学期に1回実施。

・小中あいさつ運動(毎学期)、児童会・生徒会交流・委員会交流、地域と連携した三校合同での「門松づくり」(2学期)

地域社会と深く関わる教育活動の推進

～田んぼプロジェクト、ビオトーププロジェクト～

【郷土学習の推進】

・「地域のことを学ぶ日」を設定し、全校児童で地域の自然について学習

・自然を生かしたビオトープを保護者、地域人材と共に発展

・田んぼプロジェクトとして、おやじの会、地域人材と連携しながら、水田作りを推進

・5年生が水稻を栽培。収穫後も餅つき等の活動の充実